



みんなが主役でみんながスター！

7月4日 東陽保育園運動会

子どもたちは「練習の成果を見せるぞ！」という自信に満ち溢れた表情で元気いっぱいにパフォーマンスを披露し、出番を終えた後には「がんばった～！」と、とびきりの笑顔を見せてくれました。

暑さに負けず、お互いに「がんばれ～！」と大きな声援を送り合いながら、力の限りがんばる姿に、たくさんの元気と笑顔をもらうことができました。

6月定例会のあらまし

行政報告	2 P
動産の取得・条例改正・補正予算	3 P
委員会報告	4 P
意見書など	5 P

こんなことを聞きました

一般質問	9人登壇	6 P
------	------	-----

5月臨時会

動産の取得・工事請負契約の締結など	16 P
-------------------	------

町民に見える議会活動を目指して

議員カフェを開催しました	16 P
--------------	------

政務活動費収支状況をお知らせします

議員別使途状況を公開	17 P
------------	------

住民に信頼される議会へ

北網ブロック町議会議員研修会	18 P
----------------	------

びほろ町

ざかい

No.261 令和8年8月1日

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

◇発行／北海道美幌町議会 ◇編集／議会運営委員会



6月定例会

会期3日間を1日短縮して閉会

6月定例会のあらまし

【16日】会期を3日間と決定し、町長から行政報告を受けました。その後、議員5名（藤原・馬場・上杉・松浦・横山）が一般質問に登壇し、防災減災対策、街路樹の適正な管理及び再整備、障がい者の法定雇用率の達成、財政運営、国勢調査速報値を踏まえた人口減少対策と今後の財政見通しなどについて活発な議論が交わされました。

【17日】議員4名（宮崎・稲垣・大江・吉住）が一般質問に登壇し、教育を活かしたまちづくり、エアコン設置に対する支援、石油由来物資不足問題、公共工事の発注などについて活発な議論が交わされました。次いで、美幌町議会向上推進（～よりはたらく議会を目指して～）特別委員会が事務調査結果報告を行いました。

また、議事が円滑に進んだことから、3日目（18日）に予定していた日程を繰り上げ、動産の取得1件（容器包装プラスチック減容機）、条例改正3件（美幌町行政手続条例の一部改正・美幌町長等の給与等に関する条例の一部改正、税条例の一部改正）、補正予算（一般会計、介護保険特別会計）を審議し、いずれも原案どおり可決しました。その後、追加議案（一般会計補正予算）を審議し、原案どおり可決しました。次いで、4件の意見書案を可決し、3件の報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出を承認して、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告(要旨)

■職員の人事異動の発令

去る4月1日、職員の人事異動の発令を行いました。今回の異動につきましては、職員の政策形成能力の向上を図るため、文部科学省及び北海道庁へ職員を各1名派遣したほか、ふるさと納税の取組強化のため、政策推進課内に「ふるさと納税推進グループ」を新設し、主査職、担当職をそれぞれ1名配置、さらには、1市5町の廃棄物処理広域化事務の共同処理を行う「斜網地区廃棄物処理広域化推進協議会」への派遣期間満了に伴い、職員を配置するとともに「斜網地区廃棄物処理組合」の設立に伴い、主幹職、主査職それぞれ1名を派遣し、退職者の補充、長期在任者等の配置換え、新規採用職員の発令等を行った結果、全体で70名の人事異動となったところであります。

■美幌町立国民健康保険病院の医師の確保

現在、大分県中津市立中津市民病院に勤務され、かねてより道内勤務を希望されておりました福山康朗^{ふくやまやすろう}医師と、先頃、病院見学及び面談を行った結果、令和9年4月1日付で当院の常勤医師として赴任したい旨の意思表示がされたところであります。福山医師は、九州大学医学部卒業で、日本外科学会外来専門医、がん治療認定医、緩和医療認定医、日本呼吸器外科学会認定登録医などの資格を有しており、採用後は、一般内科や緩和医療などに当たっていただく予定であります。

■令和7年国勢調査の速報値

令和7年10月1日を調査基準日として実施されました令和7年国勢調査の北海道の速報集計によりますと、本町の人口は16,707人、世帯数は7,986世帯となっております。前回、令和2年国勢調査結果と比較しますと、人口で1,990人の減少、世帯数でも323世帯の減少となっております。人口減少の要因は、少子化の進行による自然減と町外への就学や就職による社会減が同時進行しているものと考えており、自然減対策と社会減対策の両面から、より実効性のある取組の推進に努めてまいります。

動 産 の 取 得

原案どおり可決しました。

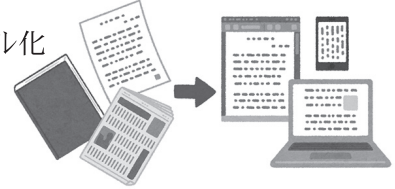
■容器包装プラスチック減容機一式 7,535万円

条 例 改 正

すべて原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

■美幌町行政手続条例の一部改正

デジタル社会形成基本法等の一部改正に伴い、公示送達デジタル化に関する規定を設ける改正
(施行日：令和8年7月1日)



■美幌町長等の給与等に関する条例の一部改正

業務委託料に係る支払遅延に対し、町民の皆さまの町に対する信頼を大きく損なったことに対する責任として、行政の最高責任者である町長及び職員の管理監督者としての副町長の給与の一定額を減額するための改正
(対象月：令和8年7月分)

■美幌町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、個人住民税に係る公的年金等受給者の扶養親族等申告書に係る所要の措置、固定資産税に係る固定資産税が課税されない課税標準額の見直し、その他文言等整理のための改正
(施行日：令和9年1月 ほか)

補 正 予 算

すべて原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

■令和8年度美幌町一般会計補正予算（第1号）

補正額 1,750万6千円 / 補正後総額 157億4,243万7千円

・登栄廃棄物処理場の油圧ショベル故障に伴う修繕費
.....267万3千円の増額



油圧ショベル

・除雪ドーザ故障に伴う修繕費
.....1,150万7千円の増額



除雪ドーザ

■令和8年度美幌町介護保険特別会計補正予算（第1号）

補正額 85万8千円 / 補正後総額 22億5,676万4千円

・介護保険法の改正に伴うシステム改修委託料など

■令和8年度美幌町一般会計補正予算（第2号）〔追加議案〕

補正額 363万円 / 補正後総額 157億4,606万7千円

・去る6月13日の降雨に伴う第Ⅳ期埋立処分場雨水排水路洗堀修繕費
.....363万円の増額



処分場

事務調査報告を行いました

美幌町議会向上推進（～よりはたらく議会を目指して～）特別委員会

美幌町議会向上推進（～よりはたらく議会を目指して～）特別委員会に付託された事項における調査結果についてその概要をお知らせします。

映像及び全文はQRコードからアクセスできます。

映像はこちら→



全文はこちら→



馬場委員長

調査項目 1：議会広報紙

「議会広報検討委員会」において、議会広報に関する研修会の受講、北海道町村議会議長会への調査、5市町（訓子府町、遠軽町、北見市、弟子屈町、大空町）議会への視察調査などを実施し、令和6年12月24日、美幌町議会広報紙の編集・発行等における「望ましい方向性」について議会運営委員会委員長に報告、議会運営委員会においては、この報告を基に協議を行い、令和7年第2回定例会において「読まれる・伝わる議会広報紙を目指し特別委員会を設置の上、さらに議論を重ねてまいりたい」との調査報告を行っている。

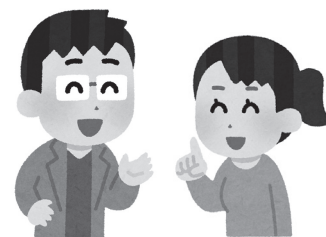
これらの経過を踏まえ、本特別委員会においてさらに協議検討を行ったが、議会広報検討委員会の調査報告内容を検証するには相当の時間を要することから、第20次議会での検証及び実施は難しいと判断し、第21次議会において議会広報常任委員会の設置及び議会広報のリニューアルに向け、検証及び実施を行うべきとの結論に至った。



調査項目 2：議会モニター制度

令和3年8月4日設置の美幌町議会改革・活性化調査研究特別委員会が行った事務調査結果報告を基に、第20次（前期）議会運営委員会で調査を継続し、令和6年第9回定例会において「多様な意見が議会運営に反映できることからモニター制度の有用性は高く、視察調査で明らかになった成果や課題等を踏まえ、町民目線に立った議会活動の充実を目指し、議会モニター制度の導入に向けた検討を進めたい」と報告している。

これらの経過を踏まえ、本特別委員会において課題を整理した上でさらなる協議検討を行ったが、美幌町議会においては、議員カフェ等により町民の意見等を聞く場を設けていることから、町民アンケート、議員カフェや模擬議会などの実施により、それぞれの課題等をさらに整理した上で、議会モニター制度導入に向けて引き続き検討することに至った。



調査項目 3：議員カフェの本格実施

令和6年6月及び11月に試行的に開催したほか、議会運営委員会において視察調査を実施し、令和6年第9回定例会において「町民の声を広く集めるため、議員と町民が気軽に話し合う場を創出する議員カフェは、生活や暮らしの中での課題を把握する上で大変有効な取組であり、今後、具体的な検証作業を進めることになるが、効果的かつ継続的な制度となるよう本格実施に向けてさらに議論を進めたい」と報告している。

その後、令和8年2月には「議員カフェ（3回目の試行）」「議会報告会」「議会フォーラム」を複合的に開催し、今後における議員カフェの在り方について協議検討を行い、町民が気軽に意見を述べられる環境づくりに資するとともに、議会側からの説明も充実させることができる双方向のコミュニケーションの場であり、町民が主体的に議会活動に参加できる場でもあることから、議会と町民との距離を縮める有効なツールの一つであることを再認識した。

これらを踏まえ、議員カフェについては、議会参加促進ツールとして本格実施すべきとの結論に至った。



こんなことを決めました

調査項目4：議員のなり手不足対策(議員の学校及び処遇等)

議員の学校は、第20次(前期)議会運営委員会において視察調査を実施し、令和6年第9回定例会において「カリキュラムや資料の作成、指導者の確保など様々な課題があることから引き続き検討を重ねる必要があり、議員のなり手確保に向けては、議員報酬の見直しや社会保障制度の充実など議員の待遇改善を含めた包括的な議論を重ねる中で、議員の学校の実施の可否を判断すべき」と報告している。

また、議員報酬については、令和7年度に美幌町特別報酬等審議会において協議され、令和7年第7回定例会において「令和8年4月以降の議員報酬を現行月額額の5%加算、期末手当を町長等の期末手当支給割合と同一にする」という条例改正案が提出され、可決している。

さらに、令和6年第9回定例会において、国等の関係機関に対し「厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を求める意見書」を提出している。

これらの経過を踏まえ、議員の学校については、様々な課題があることから直ちに導入は難しいと判断し引き続き検討すべき、議員報酬については、令和8年度分から引き上げとなっているが、今後も国や地域の経済状況、あるいは他自治体議会議員の報酬等の実態を踏まえ、適正な報酬について協議・検討を行うべきとの結論に至った。



報告案件

報告された内容は次のとおりです。

■令和7年度美幌町一般会計予算繰越明許費繰越計算書

令和7年度内の予算執行が困難であることから、その全部又は一部を令和8年度に繰り越したことを報告するもの

■一般財団法人美幌みどりの村振興公社の経営状況報告

令和7年度における経営状況報告書の提出がされたことから報告するもの



みどりの村森林公園

■専決処分の報告(工事請負契約の一部変更)

令和7年9月11日、みどりの村森林公園再整備公園造成工事に係る工事請負契約の締結を議決し、令和8年3月19日、専決処分により一部変更した工事請負契約の一部を変更することを報告するもの

4件の意見書案を可決し関係機関へ提出

令和8年6月定例会では、6件の意見書の提出を求める陳情のうち、4件の意見書案を可決し、国などの関係機関へ提出しました。

■ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

.....【提出先】内閣総理大臣 外

■令和8年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

.....【提出先】北海道労働局

■地方財政の充実・強化に関する意見書

.....【提出先】内閣総理大臣 外

■道教委「これからの高校づくりに関する指針」(改定版)を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

.....【提出先】北海道知事 外

一般質問

一般質問には9人が登壇しました。
質問事項と質問要旨は次のとおりです。

順	質問者	質問事項	質問要旨
1	藤原公一 議員	1 防災減災対策について	(1) ユニボイスの活用について (2) 厳冬期訓練後の課題と対策について (3) マイナンバーカードを活用した避難者受付アプリの導入について (4) コミュニティFMとの防災協定について
		2 高齢者のRSウイルスワクチン接種について	(1) 高齢者の重症化リスクについて (2) 地域医療への影響について (3) 医療機関との連携について (4) 助成制度について (5) 情報提供について
2	馬場博美 議員	1 街路樹の適正な管理及び再整備について	(1) 街路樹の現状の課題や問題点等について (2) 街路樹の現況調査について (3) 街路樹の落ち葉対策について (4) 街路樹に関する住民アンケート調査の実施について (5) 街路樹再整備計画の策定について
		2 美幌町職員の組織体制等について	(1) 職員の定数確保の見通しについて (2) 職員の中途退職者の対応について (3) 会計年度任用職員の処遇改善について
3	上杉晃央 議員	1 障がい者の法定雇用率の達成について	(1) 法定雇用率達成に向けた取組について
		2 地域活性化と子育て環境の充実について	(1) 全天候型屋内遊戯場を核とした多機能型施設の整備について
4	松浦和浩 議員	1 財政運営について	(1) 第3次美幌町財政運営計画について (2) 今後の大型事業などにかかる資金確保策について (3) 今後の福祉施策と経済施策にかかる資金確保策について
		2 令和7年国勢調査速報値を踏まえた人口減少対策と今後の財政見通しについて	(1) 速報値の受け止めと現状認識について (2) 地方交付税（財政面）への影響及び今後の財政運営の見通しについて (3) 人口減少対策と移住・定住の取組について
5	横山清美 議員	1 令和7年国勢調査速報値を踏まえた人口減少対策と今後の財政見通しについて	(1) 速報値の受け止めと現状認識について (2) 地方交付税（財政面）への影響及び今後の財政運営の見通しについて (3) 人口減少対策と移住・定住の取組について
		2 中東情勢の悪化に伴う町発注工事への影響と地元建設業者への支援について	(1) 町発注の公共工事への影響について (2) 柔軟な契約変更とスライド条項の適用について
6	宮崎奈津江 議員	1 教育を活かしたまちづくりについて	(1) 美幌高校の唯一性を軸としたまちづくりについて (2) 教育や子育てに対する投資について (3) 教育と移住定住施策の一体化について (4) 報徳寮の整備及び運営について (5) 美幌高校生への給食提供について
		2 エアコン設置に対する支援について	(1) 美幌町エアコン設置緊急対策補助金（仮称）について (2) 公営住宅におけるエアコン設置支援について
8	大江道男 議員	1 石油由来物資不足問題について	(1) 美幌町における影響について
		2 再生可能エネルギー拡大への取組について	(1) 美幌町における再生可能エネルギー推進への課題や対策等について
9	吉住博幸 議員	1 公共工事の発注について	(1) 燃料等の高騰に伴う公共工事の発注等について

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあつて最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。



藤原議員の一般質問YouTube配信は
0:20:01 から 1:17:17 です。



防災減災対策

問

厳冬期訓練等で見えた課題や成果の総括と、今後改善すべき点などの課題とその対策は

藤原 公一 議員



答

生命に直結する寒さ対策として暖房器具が
使えない状況下での対応を検証している

が、今後、ハザードマ
ップなど恒常的な防災
情報への活用について
検討を進めてまいりた
い。



ユニボイスの活用

問 文字情報を2次元

コード化し、それをスマ
ートフォンのアプリで
読み取ると音声で伝え
てくれる「ユニボイス」
を、多様な住民への情報
伝達手段の一つとして、
ハザードマップや防災
ガイドブックなどで活
用する考えは。

答 これまで美幌峠レ
ストハウス2階の展望
休憩室において観光案
内として活用してきた

避難者受付アプリの導入
問 今後、マイナンバー
カードを活用した避難
者受付アプリを導入す
る考えは。

答 2月に行った厳冬
期訓練で実証実験して
おり、今後はアプリの機
能の検証や国の補助金
などの動向を注視して
導入に向けた検討を進
めてまいりたい。

てまいりたい。

高齢者のRSウイルスワクチン接種

高齢者の重症化リスク

問 高齢者の重症化リ
スクの認識と、基礎疾患
を有する方や高齢者施
設入所者への感染リス
ク等の影響についての
見解は。

答 加齢による免疫機
能の低下や基礎疾患が
ある場合、重症化リス
クが高いものと認識し
ており、多くの高齢者
が共同生活を送る高齢
者施設等においては集
団感染につながる可能
性があり、入所者の健
康状態によっては重症
化する事態も考えられ
る。

問 RSウイルスワク
チンは重症化予防や重
症化による入院リスク

情報提供について

問 高齢者のRSウイ
ルス感染症の重症化リ
スクやワクチン接種の
情報提供はどう行うか。

答 町広報や国保病院
広報等を通じて重症化
リスクやワクチン接種
の情報提供を行ってま
いりたい。

問 RSウイルスワク
チンは重症化予防や重
症化による入院リスク

助成制度について



馬場議員の一般質問YouTube配信は
1:32:05 から 2:32:06 です。



街路樹の管理・再整備 問

ばば ひろみ
馬場 博美 議員



美幌町における街路樹の現状について、課題や問題点等をどのように考えているか

答 街路樹が持つ機能や景観との調和を図りながら安全性の確保と適正な維持管理を進めていくことが課題である

促進のためのガイドライン」を参考に、実情に応じた街路樹の点検手法や調査のあり方を検討してまいりたい。

街路樹の落ち葉対策

問 令和5年12月の一

般質問で「落ち葉の撤去作業ができる自治会には奨励金を出すとか、どうしてもできないところ

は民間事業者への委託を検討すべきという御提案も含めてどうするか検討していきたい」と答弁されているが、これまでの検討経過及び今後の対応策は。

答 町による直営作業や民間委託による全面的な対応は人員確保や

財政負担の面から実施が難しいが、街路樹の剪定や伐採並びに落ち葉の少ない樹種への植替えにより維持管理負担の軽減につながるよう対応してまいりたい。

問 住民と行政とが適切な役割分担をしながら協働して樹木を見守ることができるよう街路樹に関する住民アンケート調査実施の考え

は。

答 現時点で街路樹に特化したアンケート調査は予定していないが、緑の基本計画の改定に向け緑化推進に関するアンケート調査の実施

を検討しており、その中で街路樹に関する住民意向も把握できるように検討してまいりたい。

街路樹再整備計画の策定

問 年次計画により適

正な管理及び再整備を行うための街路樹再整備計画策定の考えは。

答 街路樹全体もしくは路線ごとの更新を計画していないことから新たな個別計画の策定は考えていない。



街路樹

職員の組織体制等

職員定数確保の見直し

問 社会人採用の年齢条件等を見直す考えは。

答 職種やその時点での状況などを鑑み柔軟

に見直しなど対応してまいりたい。

中途退職者の対応

問 退職者への退職要因のヒアリングや全職員を対象にした面談等の実施の考えは。

答 風通しのよい職場環境整備の観点から、所属長は全職員に対し、3回面談を実施するなどして、職員が現状や抱える悩みを相談できる体制を整備しており、受け手である所属長の研修などについて準備してまいりたい。

問 一般事務職等の会計年度認証職員の処遇改善計年度任用職員をパートタイムからフルタイムにする考えは。

答 現在の勤務時間は、業務内容や標準的な業務量に応じた適切なものと認識している。

上杉議員の一般質問YouTube配信は
3:47:03 から 4:46:55 です。



障がい者法定雇用率達成 問

過去5年間ににおける正職員及び会計年度任用職員別の障がい者雇用の人数は

上杉 晃央 議員
うえすぎ あきお

答 令和5年度から7年度にそれぞれ1名、会計年度任用職員として雇用している



問 美幌町は、令和6年6月1日現在で障がい者の法定雇用率を達成できておらず、障害者採用計画を作成したが一定の改善が見られなかったとして北海道労働局から適正実施勧告を受けていることから、次の4項目について。

- ①障がい者雇用の主な職務内容は。
- ②法定雇用率を達成できない要因の分析や課題認識は。
- ③障害者採用計画の内容と適正実施勧告を受けたことによる追加の取組は。
- ④令和8年7月より障がい者の法定雇用率が引き上げられ、現在より達成が困難になることが予想されるが、障がいのある職員の定着支援や職場環境の調整を図るため、障がい者雇用の専門的支援を行うジョブコーチや障がい者雇用促進担当者を配置する考えは。
- ⑤課題認識については、応募者の適正と業務とのマッチングが最も重要であると考えており、仮にマッチングした場合でも受入体制や業務の切り出しについてもその先の課題としてあるものと認識している。
- ③障がい者雇用については、令和11年度までに法定雇用率3%を目標準値として雇用促進に取り組んでいくこととしている。追加の取組として、ハローワーク等就労支援機関との連携強化などが考えられるが、有効性のある追加の取組は積極的に実施してまいりたい。

地域活性化と子育て環境の充実

問 義務教育学校開校に伴い用途廃止となる既存校舎の有効活用を図る観点から、全天候型屋内遊戯場を核とした多機能型の集客施設として整備し、各種イベントの開催、子どもの遊び場や交流拠点として活用することが地域活性化と子育て支援につながると思うが、町民ニーズの把握や先

④ジョブコーチなどの配置は障がいの特性などに応じて必要があれば配置することとなるが、業務の送料、管理体制及びその効果について総合的に判断することとなる。ハローワーク等とは引き続き課題の共有を行いながら連携を強化してまいりたい。

進事例の調査、事業効果の検証などを実施する考えは。

答 地域活性化や子育て支援の観点から全天候型屋内遊戯場を核とした多機能型集客施設の整備は非常に重要であると感じており、現時点においては、具体的な整備計画は策定していない。今後、公共施設等総合管理計画の指針を踏まえつつ、既存校舎等の有効活用も含め慎重に検討を進めてまいりたい。



松浦議員の一般質問YouTube配信は
4:57:02 から 5:53:48 です。



財政運営

まつうら かずひろ
松浦 和浩 議員



問

1市5町広域焼却処理施設整備事業の美幌町負担額は計画上の約30億円の範囲内で済むか

答

斜網地区廃棄物処理組合側で試算作業を進めており、まとまり次第報告をいただく予定

用により財源確保を図り、町の負担軽減に努めてまいりたい。

問 図書館の建設費は約14億円と試算されているが、現状その範囲内で実施可能と判断しているのか。

答 今後、財源の確保、建設場所、他施設との複合化などにより事業費が変動することもあるが、想定される。

問 スポーツセンターは建築後50年を経過しているが、現段階で大規模な改修等の計画はあるのか。

答 現段階で大規模な改修等を行う予定はないが、経年劣化が進んでいるため計画的に補修する予防保全に努め、健全な状態で使用できるような施設の長寿命化を図ってまいりたい。

問 義務教育学校は使わない校舎等の解体を含め約100億円と試算され、基本構想では概算建設事業費を約83億円とされているが、現状その範囲内で実施可能と判断しているのか。

答 今後、基本設計業務において増築校舎の規模や既存校舎の改修内容を精査し、概算事業費を算定することになるが、労務費や物価の上昇などを念頭に置

きながら、事業費の増額にかかる財源確保は補助金や有利な地方債を充当するなど町の持ち出しが大きくならないよう引き続き努力してまいりたい。

今後の資金確保策

問 今後、建て替えや改修が必要になると思われる施設が多数あるほか、国保病院の安定的な運営にも多額の経費がかかると思われるが、財政運営計画における主要3基金の残高見込みは大幅に減少すると見込まれている。今後、生産年齢人口の減少により地方税も減少すると考えるが、今後の基金積立について

答 社会情勢の変化等により収支が悪化し基金残高が大幅に減少する

問 福祉施策や経済施策を実施・継続していくための人材確保や経済支援は特に重要であり、将来への積み立ても必要であると思われるが、今後の資金確保策の考え方は。

答 国・道の補助金や交付金など、あらゆる財源の確保に向けて幅広く検討・調査を行うほか計画的な基金積立も行いながら財政運営計画に基づき健全な財政運営を行ってまいりたい。

問 国・道の補助金や交付金など、あらゆる財源の確保に向けて幅広く検討・調査を行うほか計画的な基金積立も行いながら財政運営計画に基づき健全な財政運営を行ってまいりたい。

答 国・道の補助金や交付金など、あらゆる財源の確保に向けて幅広く検討・調査を行うほか計画的な基金積立も行いながら財政運営計画に基づき健全な財政運営を行ってまいりたい。

問 国・道の補助金や交付金など、あらゆる財源の確保に向けて幅広く検討・調査を行うほか計画的な基金積立も行いながら財政運営計画に基づき健全な財政運営を行ってまいりたい。

横山議員の一般質問YouTube配信は
6:07:02 から 6:55:00 です。



人口減少対策と財政

問

**令和7年国勢調査速報値を受けた今後の町の
存続に対する認識は**

よこやま きよみ
横山 清美
議員



答

人口減少を悲観的に受け止めるのではなく町民の皆様が心豊かで、幸せな町づくりを進めていきたい

今後の財政運営の見通し

問 令和7年国勢調査

結果を受けた財政への影響額の見込みと、それに伴う第3次美幌町財政運営計画見直しの考えは。

答 第3次美幌町財政

運営計画における町税収入の伸び率及び地方交付税の試算において人口減少の影響を反映しているが、収入額の減収分は交付税で補填される仕組みとなつて

おり、一概に減額となるものではない。また、昨年5月に財政運営計画の見直しを行っていることから、将来の推計に差異は生じないものと考えており、現時点での見直しは考

えていない。

問 財政の硬直化が進むことによる影響について、現時点での分析と課題認識は。

答 財政の硬直化を示

す経常収支比率は近年少しずつ上昇しているものの全道及び管内平均を下回っている状況にあり、現状において財政の硬直化は進んでいないと分析している

が、今後も継続的かつ安定的な町民サービスを提供するため、引き続き財政運営計画に基づき財政の健全運営に努めてまいりたい。

人口減少対策と移住定住

問 人口減少対策とし

て町独自の少子化対策・移住定住対策などを今後重点的に強化すべくと考えるが、町として特に重視する分野と具体的な方針は。

答 U I J ターンの協

力推進、デジタルを活用した課題解決・魅力の向上、女性の定着を図る施策立案を重点施策として位置づけている。現在約600名の

移住検討者データベースを所持しており、移住意向度に応じたアプローチにより移住のほか、観光人口、関係人口や交流人口の創出を図ってまいりたい。

中東情勢の悪化に伴う影響と支援

町発注の公共工事への影響

問 中東情勢の影響に

より現在進行中の町発注の公共工事で資材調達遅延による工期の遅れや価格高騰による入札不調等の影響は出ているのか。また、現在の進捗状況及び今後の影響は。

答 現時点で資材調達の遅延による工期の遅れや価格高騰による入札不調等の影響は生じていない。今年度発注済みの工事等はいずれも予定どおり進行して

おり、また、今後発注する公共工事については、資材等の価格変動を常に把握するとともに工法や使用資材も随時検討しているため、現時点では影響はないと認識している。

柔軟な契約変更等

問 急激な資材高騰に

対し受注業者の経営を圧迫しないよう契約約款に基づくスライド条項等の柔軟な適用とそれに伴う増額の契約変更について町としてどのように取り組むのか。

答 現時点で受注者か

らスライド条項の適用等に関する協議の申し出はないが、申し出がありそれに応じた結果、契約金額の増額が生じ現行予算で補えない場合は補正予算による対応も検討してまいりたい。

宮崎議員の一般質問YouTube配信は
0:02:50 から 0:52:35 です。



教育を活かしたまちづくり

問

今こそまちづくりの重心を子育てと教育に
シフトするときでは

みやざき なつえ
宮崎 奈津江 議員

答

美幌町が住むに値する町になるよう子育て・教育
を主軸にしっかりとまちづくりを進めていきたい



美幌高校の唯一性を活かす
問 民間調査によると、

統廃合で高校がなくな
った市町村では転出が
増加、魅力ある高校づ
くりを行った地域では
総人口が5%超増加、
消費額が3億円程度増
加という分析がされて
おり、学校や教育の魅
力化が町の人口にも影
響を及ぼす可能性を示
していると考えるが、
高校を含めた教育の魅
力をまちづくりの軸と

して位置づけ、大学や
専門家と連携した共同
研究・試算は可能か。

答 連携協定を結んで
いる北見工大のネット
ワークを使った連携は
可能であると考えてい
る。約7〜8割が町外
の高校へ通っていると
いう実態を理解した中
で、それをどれだけ地
元に生かせるかをしっ
かり考える必要がある
と思っている。

教育や子育てへの投資
問 過去十数年の美幌
町の教育費を見ると、
大型事業があるときだ
け一時的に膨らんでい
る。人や環境への継続
的な投資に町の姿勢が

表れると思うが、教育
・子育てに資する予算
配分の内容を見直すこ
とは可能か。

答 義務教育学校の整
備により小中学生の教
育環境を整え、そこで
学んだ子どもたちが地
元の高校で学びを深
め、一人でも多く美幌
に残り未来の美幌町を
支えるというつながり
を何とかつくってい
きたい。町としては、高
校生の見える化を進
め、具体的な事例とし
て示せるような努力は
教育委員会と協力して
やっていきたい。

報徳寮の整備と給食提供
問 クーラー設置など

の居住環境整備を早急
に行う考えは。

答 道は道立高校全体
の魅力化を図るため4
月に高校改革推進室を
設けており、寮の環境
改善についても以前と
は違った協議ができる
と期待感を持つてい
る。報徳寮の環境改善
は所有者である道の責
務だと思っているが、
町としてできることを
しっかりと協議したい。

問 高校は昼休みが短
く給食配膳ボランティア
の確保も難しいが、
人員確保の研究は。

答 本音ベースで高校
としっかりと協議をした
上で、ボランティアに
ついても、先生方の協
力も得ながらどのよう
に回していくか、最終
的なゴールをどこに定
めるかという形を含め
進めてまいりたい。



美幌高校生

まちづくりの主軸を子育て・教育へ
問 まちづくりの重心
を子育てと教育へシフ
トし、今暮らす人が満
足する、子育てを自慢
できる仕組みこそが一
番の近道ではないか。

答 教育をまちづくり
の中心に据えていくと
いうのは教育委員会の
考えと合致しており、
ふるさと教育にシッ
かり取り組むことで、
地の高校に行こうとい
ういい流れにつなが
っていくと思っている。

稲垣議員の一般質問YouTube配信は
1:01:15 から 1:46:42 です。



エアコン設置支援 問

稲垣 淳一 議員
いながき じゅんいち



答

**エアコン未設置住宅に対する支援の一つとして美幌町
エアコン設置緊急対策補助金（仮称）創設の考えは**
住宅リフォーム促進補助事業において環境負荷
低減を目的にエアコン設置費を補助している

金（仮称）」を創設する考えは。ことは考えていない。

答 本町では、現在実施

している美幌町住宅リ
フォーム促進補助事業
において、住宅の省エネ

ルギー性能の向上及び
再生可能エネルギーの
導入を通じた環境負荷
の低減を目的として、高

効率エアコンの設置費
用を補助対象として運
用している。本事業によ

り未設置住宅への新規
導入を含め町民の皆様
の費用負担軽減に一定

の役割を果たしている
ものと考えていること
から、現在のところ同様

の目的を持つ新たな補
助金を個別に創設する

ことは考えていない。



公営住宅のエアコン設置支援

問 公営住宅にエアコ

ンを設置する際、入居者
が町に対し事前に「模様
替え・増築承認申請書」

を提出する必要がある、
また、工事費はもちろん

のこと退去時の原状回
復（取り外しと処分）に

かかる費用も入居者自
身が負担することにな

る。現在建設中の公営住

宅には、エアコン設置用
の穴開けや配線工事が
含まれているとお聞き
しているが、既存の公営
住宅に対する原状回復
を不要とする特例措置
を設けることはできな
いのか。

答 公営住宅法及び町

条例により、退去時に住
宅を元の状態に戻して
返還する原状回復義務
が定められているほか、

エアコンを残置するこ
とを特例として認めた
場合、次回入居までの間

のメンテナンス費用の
発生や入居者間におけ
る受益者負担の公平性

の観点など多くの課題
が生じることから、原状
回復を不要とする特例

措置を設けることは困
難であると考えている。

問 公営住宅入居者が

速やかにエアコン設置

ができるようエアコン
設置に関する申請や相
談等に特化した「エアコ

ン設置・熱中症対策特別
窓口」を設ける考えは。

答 現在の相談件数や
業務体制を踏まえると、
エアコンに特化した窓
口を常設する考えはな
いが、申請手続きの流れ

などの情報提供をより
一層迅速かつ丁寧な対
応に努めてまいりたい。

問 公営住宅へのエア

コン設置に当たり、構造
上、穴を開けても問題な
いかを建物の図面で確

認する、必要であれば現
場で穴開け位置を指定
するなどの業者に対す

る支援をする考えは。

答 入居者や設置業者
から相談いただいた際
には、窓口で可能な限り

の情報提供及び技術的
な助言・支援を行ってい
る。

大江議員の一般質問YouTube配信は
1:56:16 から 3:57:50 です。



石油由来物資不足問題

問

中東情勢の緊迫化による町民の暮らしや中小・零細業者の経営状況への影響調査の実施は

おおえ みちお
大江 道男 議員



答

今後とも国や道などの関係機関と連携しながら現場の声と実態の把握に努めてまいりたい

問 令和8年2月28日の米国とイスラエルによるイランに対する武力攻撃開始以来、ホルムズ海峡封鎖により、世界中で原油はもとよりナフサをはじめ石油製品の流通が困難な事態となっている。北見民主商工会が事業者に対し実施した緊急アンケート（回答数132）によると、「仕入れ・資材の高騰」「仕入れ・資材の調達」「仕事・売上の減

少」などの影響が見られ、「断熱材、シンナーが入ってこず、仕事がストップしている」などの声も聞かれているが、美幌町民の暮らしや町内の中小・零細業者の経営状況に対する現状把握や影響調査の実施は。

答 商工会議所への補助事業である中小企業相談所運営事業の中で景気動向調査による定点観測と事業者への情報提供を継続的に行っているほか、消費者協会への委託事業として、石油燃料やLPガス、食料品等の価格動向調査を実施し、事業者と町民の暮らしの双方の面から

実態の把握に努めている。また、国や北海道などから提供される情報などを通じて燃料・資材の高騰や調達難の影響が業種を問わず広く生じている状況を把握しており、今後も関係機関と連携しながら、引き続き現場の声と実態の把握に努め、国・道の動向を注視しつつ今を支え、未来につながる対応を、スピード感を持って検討・対応してまいりたい。

再生可能エネルギー拡大への取組

問 急激な地球温暖化が進行する中、我が国では再生可能エネルギー

拡大への取組が遅々と進まない状況にある。IEA（国際エネルギー機関）の報告によると2023年の世界の再生可能エネルギー新規導入量は過去最大を記録し、太陽光発電のコストは、直近10年で約9割低下しているほか、イラン情勢を受け欧州全域で屋上太陽光発電システムの需要が急増し、再生可能エネルギーへの移行による脱炭素化が急加速されることが議論されているが、これまでの美幌町における再生可能エネルギー拡大の進捗状況及び再生可能エネルギー（特に太陽光発電）推進の課題と対策は。

答 本町においてはゼロカーボンシティを宣言し、地球温暖化対策実行計画及び再生可能

エネルギー導入戦略に基づき、主に再生可能エネルギーポテンシャルが最も高い太陽光発電の導入を推進しており、エネルギーの地産地消を基本方針としている一方、大規模太陽光発電施設については、景観や自然環境への影響など地域との調査をどのように行うかが重要な課題であると認識している。国や北海道の補助制度の活用を促進するとともに町としても可能な範囲で導入支援の充実を図り、先進的なモデル事例の紹介や導入コスト・ランニングコスト、投資回収期間などに関する分かりやすい情報提供に努め導入しやすい環境づくりに努めてまいりたい。

吉住議員の一般質問YouTube配信は
4:06:15 から 4:33:38 です。



公共工事の発注問

よしずみ ひろゆき
吉住 博幸 議員



答

最新の単価及び刊行物価単価により積算し
昨今の中東情勢も踏まえ積算している

**未発注工事に対する燃料等については最新の
単価を反映させて発注すべきでは**

問 中東情勢の不安定化や円安進行などを背景に、燃料価格や建設資材などの高騰が長期化している状況にあり、燃料価格や資材コストの高騰は、建設業界や物流、農林漁業などの各業界に多大な影響を及ぼし、収益を圧迫する深刻な問題となっている。公共工事においては、国は、労務費やエネルギーコストの上昇分を適切に反映させるよう各発注

機関へ通達を出していると同っているが、美幌町を含め、各自治体等においては、急激な燃料や原材料価格の高騰に対し、工事請負代金額を変えられる「物価スライド条項」を適用し、適切に対応していることは認識している。しかし「物価スライド条項」は、契約締結後の燃料費や資材、労務費などの急激な変動に対応する制度であり、未発注工事においては、最新の設計単価や見積りを反映させて入札・契約を行うことが原則とされている。これらのことから、美幌町における令和8年度の工事・

委託業務等の発注に関する町の考え方について伺うが、令和8年度予算審議の際、町長は「燃料等において、なおも高騰が見られる場合は契約条項に基づき、契約の相手方と誠意をもって協議をしてみたい。その状況によっては、議会の皆様に補正予算等を相談したい」と答弁されており、このことは全職員に伝達し、職員は認識しているのか。また、未発注の工事等に対する燃料等については、最新の単価を反映させ発注すべきと考えるが、既存予算で対応が可能なのか。

答 職員は十分認識しており、適切な対応に努めている。さらに、昨今の中東情勢の変化等による原材料費、エネルギーコスト等の取引価格を反映した適正な請負代金の設定や工期の確保については、国からの要請に基づき、あらためて全職員に対して伝達も行っている。未発注の工事等に対する燃料等の最新の単価の反映については、入札に付する工事発注においては、起工起案日を積算基準日とし、最新の単価及び刊行物価単価により積算しており、単独工事における単価についても、昨今の中東情勢を踏まえた価格変動に対応するため、再見積りにより最新の単価を用いて積算している。予算については、資材等の価格変動に対

応しつつ、工法や使用資材についても随時検討し、費用の縮減に努めた上で、現行予算内での対応を予定しているが、補正予算が必要となった場合には、改めて議会の皆様にご相談させていただきたいと考えている。

問 仮に、補正予算を計上し対応するのであれば、補正予算については、いつ頃を予定しているのか。

答 現行予算での対応が困難と判断した段階において、工事等に影響が及ばないよう速やかに議会へご提案させていただきたいと考えている。



5月臨時会

すべて原案どおり承認、可決されました。
主な内容は次のとおりです。

専決処分の承認

■美幌町税条例等の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、令和8年度の町税課税を行うために急を要し専決処分したことを承認

■令和7年度美幌町一般会計補正予算（第11号）

起債事業費の確定に伴う会計処理等のため急を要し専決処分したことを承認

■令和7年度美幌町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

療養給付費の確定に伴う会計処理等のため急を要し専決処分したことを承認

■令和7年度美幌町介護保険特別会計補正予算（第5号）

介護サービス給付費の確定に伴う会計処理等のため急を要し専決処分したことを承認

こんなことを決めました

動産の取得

■除雪ドーザ

……………取得金額 3,702万6,000円



除雪ドーザ

工事請負契約の締結

■旭団地7号棟建設外構工事

……………契約金額 5,720万円



旭団地

計画の変更

■美幌町過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更

令和8年3月に策定した市町村計画について、令和8年度に実施する一部の事業が未搭載であることから、美幌町過疎地域持続的発展市町村計画の一部を変更しようとするもの

条例改正

■美幌町介護予防・生活支援事業条例の一部改正

生活援助事業、入浴サービス事業及び短期宿泊利用サービス事業の条例別表に定める加算等を国の示す介護報酬基準に準じて改正を行おうとするもの

議員カフェを開催しました

7月7日（火）、町民会館3階中ホールにおいて、今年度第1回目の「議員カフェ」を開催しました。議員と町民の皆さまがコーヒーやお茶を飲みながら気軽にお話ができる場として開催しておりますが、今回は延べ17名の方にお越しいただきました。ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。



～全議員の政務活動費収支状況をお知らせします～

令和 7 年度 政務活動費収支報告

美幌町では、議員一人当たり月額 2 万円の政務活動費が交付されています。議員活動をするうえで、必要な経費の一部として交付するもので、使途は資料購入費や広聴広報費などさまざまです。
各議員から令和 7 年度政務活動費収支報告がありましたので、お知らせします。

政務活動に要する経費（使途基準）

項 目	内 容
調 査 研 究 費	調査委託費、交通費、宿泊費等
研 修 費	会費、交通費、宿泊費、会場費、機材借上費、資料印刷費等
要望陳情等活動費	会場費、機材借上費、資料印刷費等
会 議 費	会場費、機材借上費、資料印刷費等
資 料 作 成 費	印刷製本費、原稿料等
資 料 購 入 費	書籍購入費、新聞雑誌購読料等
広 報 広 聴 費	広報紙等印刷費、送料、交通費等
事 務 所 費	事務所の賃借料、管理運営費等
事 務 費	消耗品費、備品購入費、通信費等

令和 7 年度 政務活動費 使途別集計表

（単位：円）

交付番号	第 1 号	第 2 号	第 3 号	第 4 号	第 5 号	第 6 号	第 7 号	第 8 号	第 9 号	第 10 号	第 11 号	第 12 号	第 13 号	—	合 計	構成比
区 分	木村利昭	宮崎奈津江	藤原公一	伊藤伸司	松浦和浩	稲垣淳一	戸澤義典	横山清美	馬場博美	吉住博幸	高橋秀明	上杉晃央	大江道男	大原 昇		
1 調査研究費		6,000		133,364	35,769	85,170		61,132	90,491		130,243			—	542,169	20.6%
2 研 修 費	19,240	136,090	99,988					30,000		25,270		65,026		—	375,614	14.3%
3 要請陳情等活動費														—	0	0.0%
4 会 議 費														—	0	0.0%
5 資料作成費														—	0	0.0%
6 資料購入費		79,708	146,240	94,569	97,200	87,371	98,569	93,172	65,872	60,275	26,472	11,472		—	860,920	32.8%
7 広聴広報費	42,287	14,975		42,287				42,287	42,287			194,560	308,200	—	686,883	26.2%
8 事務所費					52,188									—	52,188	2.0%
9 事務費			1,861	3,899	24,881	25,074	7,216		14,875			30,565		—	108,371	4.1%
収支報告分合計	61,527	236,773	248,089	274,119	210,038	197,615	105,785	226,591	213,525	85,545	156,715	301,623	308,200	—	2,626,145	100.0%
返 還 金	178,473	3,227	0	0	29,962	42,385	134,215	13,409	26,475	154,455	83,285	0	0	—	665,886	
交付決定額(A)	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	—	3,120,000	
交付確定額(B)	61,527	236,773	240,000	240,000	210,038	197,615	105,785	226,591	213,525	85,545	156,715	240,000	240,000	—	2,454,114	
執行率(B÷A)	25.6%	98.7%	100.0%	100.0%	87.5%	82.3%	44.1%	94.4%	89.0%	35.6%	65.3%	100.0%	100.0%	—	78.7%	

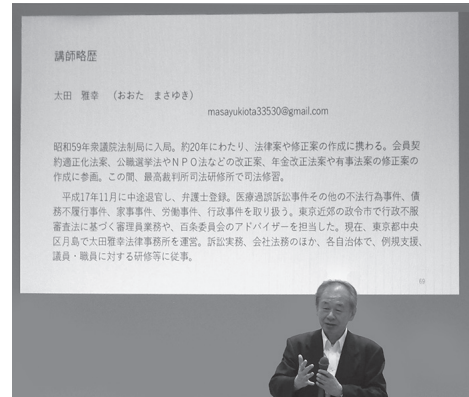
注：政務活動費の交付を受けていない議員の各欄は「—」と表示。

令和 8 年度北網ブロック町議会議員研修会

7月13日（月）、北網ブロック町議会主催の議員研修が美幌町において開催され、美幌町議会議員全員で参加しました。

北海道出身で、現在は東京都で太田雅幸法律事務所を運営されている太田雅幸弁護士より「ハラスメントの防止」と題したご講演を受けました。ハラスメントの基本（議員から職員・議員間）、ハラスメントの防止のための取組、ハラスメントに関する条例の在り方について、言葉の定義だけではなく、具体的な事例や裁判例なども交えながらお話しいただき、全議員が身近な問題として捉え、自身を見つめ直す有意義な研修となりました。

美幌町議会では、令和 7 年 9 月に「美幌町議会ハラスメント防止条例」を制定し、ハラスメントのない健全な議会づくりを推進しております。今回の研修内容を活かし、今後もハラスメントのない開かれた議会運営に努め、町民の皆さまに信頼される議会を目指してまいります。



議会を傍聴しませんか

定例会は年 4 回（3 月・6 月・9 月・12 月）開かれ、議場入口にある受付票に住所と氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

9 月定例会は 9 月 8 日（火）頃から開かれる予定です。

日程が正式に決まり次第、町のホームページなどでお知らせします。

6 月定例会の傍聴者は 4 名でした。
みなさまの傍聴をお待ちしております。

議会ホームページもご覧ください

「本会議開会中のライブ中継」や常任委員会の開催日などもお知らせしています。

美幌町ホームページから
「美幌町議会」をご覧ください。
QRコードから
アクセスできます

こちら→



あとがき

▼6 月に開催された夏の甲子園を目指す高校野球北海道大会に部員 9 名で臨んだ美幌高校は、強豪校相手に中盤まで食い下がったものの力尽き、無念のコールド負けとなりました。少ない部員で切磋琢磨して勝利を目指してきた努力は、引退する 3 年生、次を目指す 2 年生以下の選手たちにとって、大切な財産となることでしょう。

▼その美幌高校では、町民の皆さまに応援をいただき、今年度から学校給食がスタートします。昭和 14 年に開校した美幌農林学校を由来とする美幌高校を、町民の皆さままで盛り立てて、応援していきましょう。

議会運営委員会

（博幸）

委員長 稲垣 淳一
副委員長 宮崎 奈津江
委員 木村 利昭
委員 馬場 博美
委員 吉住 博幸